

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜ペットビジネス科＞

科目名	1級愛玩動物飼養管理士受験対策	
担当教員の実務経験	秋田県動物愛護推進協議会委員を務める	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 2年生	
授業時間数・単位数	20コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	1級愛玩動物飼養管理士受験対策	
授業の到達目標	1級愛玩動物飼養管理士の取得	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。課題報告問題（昨年度、去年度）をくまなくチェックすること。	
準備学習・時間外学習	対策問題は常に教室に置いてありますので、問題文に慣れるためにも持ち帰り各自自宅学習を行うこと。	
使用教科書・教材・参考書	1級愛玩動物飼養管理士教本、スクーリング教本、課題報告問題、プリント	
授業上の注意点	課題の提出期限を守ること。	
	授業計画（内容）	コマ数
	動物愛護業務の公衆衛生としての歴史	2
	「動物の保護及び管理に関する法律」制定後の行政対応	
	動物愛護行政の推進と地域での取り組み	
	自然環境と世界の動き（地球憲章、人間環境宣言、地球環境保全戦略、地球サミット、生物多様性条約第10回締約国会議-COP10）	2
	自然環境と人間のかかわり	4
	弱点克服講義	
	過去問題・対策問題	
	合計	20
	授業単位数	1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜ペットビジネス科＞

科目名	アシスタント実習	
担当教員の実務経験	ペットショップにてトリマーとしての実務経験がある。 新人指導の経験がある。	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 2年生	
授業時間数・単位数	35 コマ	・ 2 単位
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	基本理論の習得が終了した1年生、ならびにオープンキャンパス参加者にアシスタントとして指導する。	
授業の到達目標	知識をアウトプットすることにより確実に自分の力にする。 それぞれの受け取り方を理解しながら分かりやすく教えることにより、指導力が身につく。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（用語・理論の正確さ）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	ドッグ・グルーミング・ブック	
授業上の注意点	どのように解説したら理解に及ぶのか？は相手によって異なります。分かりやすく“分かるように”解説すること。	
授業計画（内容）		コマ数
器具・保定アシスタント（器具の扱い方および手入れ、保定の注意）		5
グルーミングアシスタント①（爪切り、耳そうじ、肛門腺しぼり、足裏バリカン）		5
グルーミングアシスタント②（シャンプー、ブロー）		5
トリミングアシスタント（コーミング、シザーワーク）		5
散歩アシスタント（散歩コースの指導、犬舎犬ごとの扱いを伝授、同伴）		5
デンタルケアアシスタント（犬舎犬歯磨き指導）		5
犬舎管理・清掃・消毒指導		5
合計		35
授業単位数		2

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜ペットビジネス科＞

科目名	インターンシップ実習（企業研究実習）	
実務経験	① 各事業所に勤務 ② 動物病院、ペットサロン等での実務経験がある	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 2年生	
授業時間数・単位数	33コマ	2単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	実社会にて就業体験を行うことにより社会人になることの自覚をもつ。 希望事業所での就業体験により就職後のイメージをつかむ。	
授業の到達目標	希望就職先の確定。 社会に出ることに対し自覚と責任をもつ。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（インターンシップノートによる企業評価）、 出席率、提出物ならびに実習態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点 以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習	企業研究は常におこなうこと。意識を高く持ちましょう。	
使用教科書・教材・参考書	動物系専門学校生・トリミングスクール生のための コミュニケーション・マナー&キャリア・ガイダンス（インターズー）	
授業上の注意点	必修単位数は「2」としてはいますが、希望就職先に限らず、より多く体験すること で進路を明確にしていくことが望ましい。 インターンシップはキャリア教育であり、社会人としてのマナーが厳しく問われま す。よって、欠席・遅刻・早退などのないよう万全な健康管理、生活管理を行っ て上で臨んでください。	
授業計画（内容）		コマ数
インターンシップの目的、心構え、身だしなみなどの事前学習		1
実習依頼を行う（ビジネスマナー）		1
実務研修（受入れ事業所での就業体験）		30
インターンシップノート（実習日誌）		1
合計		33
授業単位数		2

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜ペットビジネス科＞

科目名	グルーミング実習ⅡA	
担当教員の実務経験	ペットショップでトリマーの経験あり	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 2年生	
授業時間数・単位数	150コマ	・ 10単位
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	実務で通用するトリミング技術を覚える。	
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 直線的なカットからバランスのとれた立体的なカットに仕上げる ・ 各犬種の欠点や特徴をよく理解し、お客様の希望にあうカットが出来るようになる。 	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習	事前に担当犬のカルテに目を通すこと。 実習終了後にはトリミング記録を提出すること。	
使用教科書・教材・参考書	ドッグ・グルーミング・ブック	
授業上の注意点	犬、人ともに怪我および体調不良には十分に注意する。	
授業計画（内容）		コマ数
1年次の復習を行いさらに時間短縮をする。 個人の苦手分野の克服。		20
直線的なカットから立体的なカットに仕上げる。 鋏の使い方に工夫をし、より立体的なカットをする。		40
グルーミング犬種を多頭数仕上げる事が出来る。		12
グルーミング犬種とカット犬種を仕上げる事が出来る。		18
全ての器具・器材を理解し使い分けることにより大型長毛種を短時間で仕上げる事が出来る。		8
シー・ズー、マルチーズ、ヨークシャー・テリアなどのペットクリップを完全に理解する。		12
トイ・プードルのカットスタイル・クリッパーワークを理解・習得する。		
ミニチュアシュナウザーのペットクリップを完全に理解・習得する。		12
トイ・プードルのバラエティクリップを理解・習得する。		4
実技試験に向けた模擬テスト（トイ・プードルペットクリップ2時間以内）		12
合計		150
授業単位数		10

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜ペットビジネス科＞

科目名	グルーミング実習ⅡB	
担当教員の実務経験	ペットショップでトリマーとしての実務経験がある。	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 2年生	
授業時間数・単位数	30コマ	2単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	立体のスタイルを作り上げる際に必要な観察力、想像力、形体を構成する力を学ぶ。デザインカットやカラーリング技術の習得	
授業の到達目標	トリミングに必要な技術と観察力をさらに向上させ、立体的なスタイルを作り上げる。再現性、共感性を追求できる。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習	カットスタイルは常に研究すること。	
使用教科書・教材・参考書		
授業上の注意点	全毛カラーリングは禁止します。	
	授業計画（内容）	コマ数
	顔カットの基礎や、様々なデザインカットスタイルの習得。	4
	耳、尾などのワンポイントカラーリング。	4
	リボンやエクステをつけて、ヘアアレンジをする。	2
	ボディの一部にハートの造形やおパンツカットなどのカットをする。	4
	フォトコンテスト対策講習（モデルドッグ使用）	8
	卒業制作のデザインカット（モデルドッグ使用）	8
	合計	30
	授業単位数	2

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜ペットビジネス科＞

科目名	しつけ・行動学Ⅱ（動物の行動と社会、ドッグトレーニング）	
担当教員の実務経験	ドッグトレーナーとしての実務経験がある	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 2年生	
授業時間数・単位数	48 コマ ・ 3 単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	しつけの重要性と行動学の基本的理論を理解する。 ドッグトレーニングの基礎となる理論と実技を学ぶ。	
授業の到達目標	①犬や猫といった身近にいる動物の行動の行動原理を復習し、飼い主が理解できるようアドバイスすることができる。 ②飼い主の悩みを聞き取り、原因の追究・適正な解決策を提示できるようになる。 ③動物行動カウンセラーの資格取得	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習	①トレーニング記録を各自記録し、講義前までに、相手に伝える内容に【最優先事項】・【優先事項】・【時間があれば伝える事項】の優先度をつけておくこと ②担当している犬の性格や特徴、クセ、困ったことなどを客観的にまとめ、コミュニケーションを取るコツ、トレーニングのポイントなどをまとめておくこと。	
使用教科書・教材・参考書	資料/課題	
授業上の注意点		
	授業計画（内容）	コマ数
学習理論の理解を進める 学習理論を復習し、実例と併せて理解する		5
相手の話を聴き、問題点をみつける グループワークを通して話を「聴く」技術と、本当の問題点のを見つけ方を学ぶ		5
相手に適切な話し方を身につける 人によって理解度が異なるため、同じ内容の説明でも言葉や言い回しを変えて伝える方法を学ぶ		5
相手が欲している情報（知識）を正確に伝える 相手に伝えようとしている知識が、本当に相手が欲している情報なのかどうか、相手に本当に必要な知識なのか同火を客観的に見つめなおす		5
動物の行動を理解する ①実際に犬などと触れ合う中で、学習理論を体感する ②基本的なトレーニングを行う		6
相手の話を聴き、問題点をみつける ①話の聞き取り方を学ぶ ②トレーニングの結果を相手から聞くことで、適切なコミュニケーションの取り方や、上手くトレーニングできない場合の問題点を探る		6
相手に適切な話し方を身につける 実際にトレーニングした結果から、担当した犬の性格や気になる点、困ったことなどを的確に相手に伝える		6
相手が欲している情報（知識）を正確に伝える 話を聞いた結果、相手に必要な情報は何かを精査し、相手に理解できるように伝える		6
成果発表 グループ内で話し合った担当犬の性格、特徴、困ったことなどをまとめて発表、今後のコミュニケーションを取るうえでの注意点やアドバイス、トレーニングのポイントなどを発表する		4
	合計	48
	授業単位数	3

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜ペットビジネス科＞

科目名	ペットビジネス総合実践ⅡA（経営学・商品学・ビジネス戦略）	
担当教員の実務経験	<ul style="list-style-type: none"> ・企業内広報部において、マーケティングリサーチ・分析・企画・広告・宣伝活動ならびに広報広告物およびWEBページの制作の経験がある。 ・商品販売（ならびにアドバイザーとして）の経験がある。 ・ペットショップにて実務経験がある。 	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 2年生	
授業時間数・単位数	47コマ	3単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	<p>マーケティング・販売学を応用し、ワークショップの出店を計画する。利益追求、消費者心理、サービスから広告戦略など多方面から分析し、企画した“ビジネス”の成功を目指す。</p> <p>具体的な企画・運営を通して企画力・実行力・協調性など社会人としての基礎力と人間力をつける。「最終的な目的達成」のために必要なプロセスとプランニングに時間軸を敷き、実際のイベント企画・運営を通して顧客満足度からリスク管理までを体系的に学ぶ。</p>	
授業の到達目標	<p>① 作り上げた店舗にて多方面から顧客心理に寄り添った店舗企画ができる。</p> <p>② イベントの企画から運営までを実際に体験しノウハウを身につける。グループワークで各自が役割に対する責務を果たすことによりチーム全体の力を発揮することができることを体得し、グループの中での個の在り方を認識する。自分達の考えたイベントが来場者にどう評価されたかを調査・分析し客観的評価ができる。</p> <p>ひとつのビジネスを成功させるためには、金銭的利益を出すという数字計算上のことでだけではなく、利益（満足）を生み出すことができる状態を作ることが最も重要である。以上のことから、コストの削減、価格の吊り上げで全てを解決するのではなく、顧客心理に寄り添うこと、客観的観点をもつこと、そして、ビジネスチームとして同じ目標に向かい工夫を凝らすことを重要視する。この科目を通して“経営者”としてそれらを十分に考慮したビジネス計画ができる力が身につくとともに、人間力の強化にもつながる。</p>	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習	他で開催されている同様イベントにも興味をもってみる。	
使用教科書・教材・参考書	前年度資料	
授業上の注意点	満足とリスク管理は妥協せずに追求すること。	
授業計画（内容）		コマ数
イベント（ビジネス）成功の定義、最高のパフォーマンスに必要な要素		1
チームのモチベーションを上げる要素と工夫		1
プランニングと運営について考える		1
店舗企画会議（内容、人材配置、予算）		1

イベント企画会議（内容、人材配置、予算）	2
店舗企画※ワークショップ（コンセプト、商品、POP制作、空間プロデュース）	20
（制作・仕入れ／グループワーク）	
（売上目標／経営面の改善）	
（広報・宣伝活動）	
（収支計算／棚卸）	
店舗企画結果の分析（レポート）	1
イベント企画（昨年度からの改善点、イベント内容の検討）	20
（運営シミュレーションと分析）	
（主催者との打ち合わせ）	
（リスクマネジメント）	
（制作・仕入れ／グループワーク）	
（広報・宣伝活動）	
イベント企画結果の分析（レポート）	1
合計	47
授業単位数	3

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜ペットビジネス科＞

科目名	ペットビジネス総合実践ⅡB（店舗・イベントプロデュース）	
担当教員の実務経験	<ul style="list-style-type: none"> ・企業内広報部において、マーケティングリサーチ・分析・企画・広告・宣伝活動ならびに広報広告物およびWEBページの制作の経験がある。 ・商品販売（ならびにアドバイザーとして）の経験がある。 ・ペットショップにて実務経験がある。 	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 2年生	
授業時間数・単位数	60コマ	4単位
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	<p>マーケティング・販売学を応用し、ワークショップならびに学園祭の出店を計画する。利益追求、消費者心理、サービスから広告戦略など多方面から分析し、企画した“ビジネス”の成功を目指す。</p> <p>具体的な企画・運営を通して企画力・実行力・協調性など社会人基礎力をつける。イベントを企画する段階から時間軸のプロセスを経て、「最終的な目的達成」のために必要なプロセスとプランニングに時間軸を敷き、実際のイベント企画・運営を通して顧客満足度からリスク管理までを体系的に学ぶ。</p> <p>★社会人として求められる人間力・チーム力を学ぶ。</p>	
授業の到達目標	<p>③ 作り上げた店舗にて多方面から顧客心理に寄り添った店舗企画ができる。個の作業ではなく全体を以て的確な指示・判断を行うことができる。</p> <p>④ イベントの企画から運営までを実際に体験しノウハウを身につける。グループワークで各自が役割に対する責務を果たすことによりチーム全体の力を発揮することができることを体得し、グループの中での個の在り方を認識する。自分達の考えたイベントが来場者にどう評価されたかを調査・分析し客観的評価ができる。個の作業ではなく全体を以て的確な指示・判断を行うことができる。</p> <p>★チームをけん引しまとめ上げ、チーム全体で最高のパフォーマンスができるように導く力を得る。</p>	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A(80点以上)・B(60点以上)・C(40点以上)・D(40点未満)とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書		
授業上の注意点	当日までは様々なアクシデントが生じる可能性があります。それによって企画の変更等が生じた場合は時間を追加します。チーム一丸となり頑張りましょう。	
授業計画（内容）		コマ数
店舗企画※学園祭・ワークショップ（POP制作、空間設計、仕入れをグループで実行）		30
（広報・宣伝活動を実行）		13
（リハーサル）		10
（運営管理※当日）		5
店舗企画結果の分析（レポート）		1
イベント企画結果の分析（レポート）		1
合計		60
授業単位数		4

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜ペットビジネス科＞

科目名	ホリスティックケア演習（ペットマッサージ・メディカルアロマ）	
担当教員の実務経験	① リラクゼーションサロン オーナー ペットマッサージ、マッサージのスペシャリストとして各方面で活動。 ② メディカルアロマアドバイザーとして製作・販売ならびにメディカルアロマ体験ブースを担当した経験がある。 ③ ペットセルフケアセラピストとしてメディカルアロマ体験ブースを担当した経験がある。	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 2年生	
授業時間数・単位数	31コマ	2単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	ホリスティック療法の基礎理論を理解し、手技を身につける。	
授業の到達目標	ホリスティック療法が注目されるようになった理由を根本的に理解する。 ペットマッサージが注目される理由と東洋医学理論を理解し、目的別のペットマッサージを行うことができる。 メディカルアロマとアロマセラピーの違い、精油の効能を理解しレシピにそって作ること、また、その作り方を一般に指導することができる。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習	手技の習得に努めること。自主練習の際は禁止事項に注意してください。	
使用教科書・教材・参考書	ペットマッサージ アカデミックコース教本 ペットセルフケアセラピスト講師養成講座テキスト、プリント ホリスティックケア・カウンセラー養成講座テキスト、DVD	
授業上の注意点	課題提出（動画）期限を守ること。	
授業計画（内容）		コマ数
ペットマッサージ基礎理論の習得		
代替療法が注目される意味		2
基礎解剖学（骨格系、筋系）		
ペットマッサージ概論（東洋医学論／経絡・ツボ・気血水・平の思想・リンパ）		2
ペットマッサージの基本（注意点、基本テクニック）		
リンパの基本マッサージ（4大リンパ節）		2
肩こり、びわの葉温灸、元気アップ		2
ダイエット、ストレス解消、老化防止／免疫力向上		
耳のトラブル、皮膚のトラブル、目のトラブル、快便		
フィードバック・反復練習		6
課題提出（①リンパの基本マッサージ②好きなマッサージを実践し動画を撮影して提出）		
メディカルアロマセラピーの基礎理論の習得		
協会について		3
精油の選び方		
精油とは		
注意しなくてはならない精油と種類		

使用する際の注意点		
パッチテストについて	3	
精油に含まれる化学成分作用		
現代医療とアロマセラピーの違い		
アロマセラピーの注意点		
治療と癒しのアロマ		
Q & A		
レシピ29種類(獣医師臨床医学部会レシピ13種類含む)		
実習	10	
科目試験	1	
	合計	31
	授業単位数	2

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜ペットビジネス科＞

科目名	ホリスティックケア総論	
担当教員の実務経験	① ホリスティックケア・カウンセラーとしてカウンセリングの実務経験がある。 ペットセルフケアセラピスト講師として外部イベントにおいてメディカルアロマ 製作体験を開講した経験がある。 ② メディカルアロマセラピーアドバイザーとして販売経験がある。 ペットセルフケアセラピスト講師として外部イベントにおいてメディカルアロマ 製作体験を開講した経験がある。	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 2年生	
授業時間数・単位数	16コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	ホリスティックの理論に基づき、自然治癒力を高め健康を管理する意味と方法を学ぶ。	
授業の到達目標	ホリスティックケアについて理解し、食事、マッサージ、アロマなど、さまざまなアプローチによる自然治癒力の高め方を理解し、真の健康管理についてアドバイスができる。 一般社団法人日本アニマルウェルネス協会認定 ホリスティックケア・カウンセラー取得	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習	ホリスティックケア・カウンセラーテキストの中にある項目で、他の科目と重複しているものについては省いていますので、科目レポート提出に際しては各自で復習をすること。	
使用教科書・教材・参考書	ホリスティックケア・カウンセラー養成講座テキスト、DVD	
授業上の注意点	レポート提出期限を守ること。	
授業計画（内容）		コマ数
ホリスティック総論		2
ホリスティックと食事		1
サプリメントについて		1
ハーブの基礎知識		1
中医学基礎知識と中医学養生		2
テトリントン・Tタッチ・メゾット		1
バッチフラワーレメディ™		1
ストレスケア		1
カウンセリング基礎		2
科目レポート、修了試験		4
合計		16
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜ペットビジネス科＞

科目名	公衆衛生学Ⅱ（感染症学、ズーノーシス）	
担当教員の実務経験	動物病院にて看護業務の経験がある。	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 2年生	
授業時間数・単位数	20コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	人獣共通感染症（ズーノーシス）を理解する。 微生物の基礎知識を習得する。	
授業の到達目標	動物を守る、人を守る、自分を守る。動物関連の仕事に携わる者として、ズーノーシスを正しく理解し情報を広く伝えることができる。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A(80点以上)・B(60点以上)・C(40点以上)・D(40点未満)とする。	
準備学習・時間外学習	暗記項目が多いため、自宅でも努力すること。	
使用教科書・教材・参考書	コンパニオンアニマルの新健康管理学（インターズー）、問題集 1級愛玩動物飼養管理士教本、課題報告問題	
授業上の注意点		
	授業計画（内容）	コマ数
	ズーノーシスの定義	1
	感染症が成り立つためには	1
	感染症の経過について	1
	感染症の対策について	1
	細菌の性質や分類	1
	真菌の性質や分類	1
	ウイルスの性質	1
	細菌（常在菌）	1
	内部寄生虫症 回虫・条虫・トキソプラズマ・エキノコックス	1
	動物由来感染症とは、動物由来感染症 感染症法に基づく対策	1
	狂犬病、ネコ引っかき病、外傷性パストレラ症、破傷風（破傷風ワクチン）	1
	皮膚糸状菌症、幼虫移行症、糸状虫症、インフルエンザ、ノミ刺症、アニサキス症	1
	サルモネラ症、腸管出血性大腸菌感染症、カンピロバクター腸炎	1
	レプトスピラ症、オウム病	1
	マダニが媒介するズーノーシス	1
	サルから感染するズーノーシス	1
	ウサギ、小型げっ歯類から感染するズーノーシス	1
	クリプトスポリジウム症、ヘリコバクター・ピロリ感染症	1
	人と動物の共生に必要な公衆衛生の課題	1
	生活環境の衛生管理（動物飼養に伴う公衆衛生上の問題、動物排泄物、毛、不潔、悪臭）	
	衛生害虫とその防除	
	動物による生活侵害と危害の防止（鳴き声、家屋への侵入、咬傷、搔傷）	
	確認テスト	1
	合計	20
	授業単位数	1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜ペットビジネス科＞

科目名	飼養管理実習Ⅱ	
担当教員の実務経験	① 動物病院にて看護業務の経験がある。 ② ペットショップにて生体管理の実務経験がある	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 2年生	
授業時間数・単位数	15 コマ	・ 1 単位
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	<p>① 動物に対しての観察力を身につける。又、摂取カロリーや栄養バランス、安全な散歩のテクニックなどを学ぶ。健康管理面では投薬や保定などの技術の習得も目標とする。</p> <p>② 健康管理、飼い主へのアドバイスに必要な知識の習得を目指す。</p> <p>③グループ作業の実施により、チームで働く上での心構えや協調性を養う。又、服装、及び時間厳守など社会人として最低限必要を守る意識を育てる。</p>	
授業の到達目標	飼養管理実習Ⅰで身につけた知識や技術を更に向上できるよう、1年生に指導しながら飼育方法を考える。正しい知識や技術を伝授し、より良い飼育環境作りに務める。動物の命に責任を持つ。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習	命は24時間365日。休日も当番があります（月1～2回）。	
使用教科書・教材・参考書		
授業上の注意点	少しでも異常が認められる場合は速やかに報告してください。	
授業計画（内容）		コマ数
情報の共有から質の高い飼育を目指す		2
個人のスキルアップから質の高い飼育を目指す		2
観察力アップから質の高い飼育を目指す		2
自己評価から質の高い飼育を目指す		2
危機管理を実践に活かし質の高い飼育を目指す		2
入院管理を想定し質の高い飼育を目指す		2
動物に携わるものとしての倫理観を備えた質の高い飼育を目指す		2
動物飼育実習の総括		1
合計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜ペットビジネス科＞

科目名	動物愛護活動Ⅱ	
担当教員の実務経験	秋田県動物愛護推進協議会委員を務める	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 2年生	
授業時間数・単位数	19コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	動物愛護活動に取り組む。 秋田県動物愛護推進計画を理解する。	
授業の到達目標	秋田県動物愛護フェスティバルにボランティアとして参加することにより、秋田県の取り組みならびに地域そのものと触れ合うことで、愛玩動物飼養管理士として行うべき普及啓発活動の意味とペット業界従事者に求められていることを理解する。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	資料配付	
授業上の注意点		
	授業計画（内容）	コマ数
	秋田県動物愛護推進計画を理解する	2
	いのちを繋ぐ取り組みについて理解する	
	動物愛護フェスティバルについて理解する	
	秋田県動物愛護フェスティバルについて概要を理解する	4
	秋田県動物愛護フェスティバルでのボランティアを計画する	
	犬猫保護団体について理解する	10
	犬猫保護団体へのボランティアを行う（NPO法人いぬねこネットワーク秋田）	
	秋田県動物愛護センターの見学実習	2
	レポート	1
	合計	19
	授業単位数	1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜ペットビジネス科＞

科目名	動物愛護論Ⅱ	
担当教員の実務経験	秋田県動物愛護推進協議会委員を務める	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 2年生	
授業時間数・単位数	15コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	日本における動物愛護運動の起こりから現在の「動物愛護及び管理に関する法律」が整備されるまでの流れを理解する。	
授業の到達目標	1級愛玩動物飼養管理士の取得を目指す。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習	前日に教科書に目を通すこと。2級の内容を復習すること。	
使用教科書・教材・参考書	1級愛玩動物飼養管理士教本、スクーリング教本、課題報告問題	
授業上の注意点		
	授業計画（内容）	コマ数
	日本における動物愛護運動の起こり（明治期から第二次世界大戦終結まで）	4
	広井辰太郎と動物虐待防止会（日本の動物愛護運動、動物虐待防止会）	
	新渡戸万里と日本人道会（日本人道会の発足・活動・終息、牛馬保護運動、犬猫保護運動）	
	第二次世界大戦後の動物愛護運動	4
	戦後の動物愛護団体	
	「動物の保護及び管理に関する法律」の制定と制定後の流れ	
	動物愛護団体の共同活動	
	動物愛護週間	4
	動物愛護とは（「動物の愛護及び管理に関する法律」の動物愛護、利用目的に応じた動物愛護の考え方）	
	動物愛護のあり方（日本風土にあった動物愛護の模索、動物愛護のパラダイムの構築）	3
	確認テスト	
	合計	15
	授業単位数	1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	動物栄養学Ⅱ	
担当教員の実務経験	一般社団法人日本ペット栄養学会に所属するペット栄養管理士。 知識をもとに、フードアドバイザーとして嗜好性および臨床の両面から愛犬の健康相談ならびにフード相談を行っている。また、独自レシピによる「ワンちゃんおせち」を提供している。	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 2年生	
授業時間数・単位数	15コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	犬と猫に必要な栄養素とその量を理解する。	
授業の到達目標	的確な栄養管理ができる。 1級愛玩動物飼養管理士を目指す。 NAVAペット栄養士の取得を目指す	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習	犬・猫を家族に持つ方は、その食事にも興味を持ってください。	
使用教科書・教材・参考書	NAVAペット栄養士ライセンステキスト	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
犬と猫の栄養学		1
栄養素とその機能（エネルギー、たんぱく質、炭水化物、脂質、ビタミン、ミネラル）		1
犬と猫が必要とするエネルギーと栄養素		1
犬と猫の消化器官の特徴		1
エネルギー要求量、代謝エネルギー		1
たんぱく質要求量、必須アミノ酸、タウリン		1
脂肪要求量、必須脂肪酸		1
ビタミン要求量、生合成の特徴、抗酸化作用		1
ミネラル要求量、カリウムとリンの比率、ナトリウムと塩素、カリウム、鉄、亜鉛、銅、マンガン、全肉食症候群、下部尿路疾患とマグネシウム		1
犬、猫、人の必要栄養素量の比較		1
ライフステージと栄養（妊娠・授乳期、子犬・猫、高齢期）		1
ペットフードの分類（ドライ、セミモイスト、ウェット）		1
総合栄養食、プレミアムフード		1
確認テスト		2
	合計	15
	授業単位数	1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	動物栄養実習Ⅱ	
担当教員の実務経験	一般社団法人日本ペット栄養学会に所属するペット栄養管理士。 フードアドバイザーとして嗜好性および臨床の両面から愛犬の健康相談ならびに フード相談を行っている。独自レシピによる「ワンちゃんおせち」を提供している。	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 2年生	
授業時間数・単位数	18コマ	1単位
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	犬用のおやつ、アニバーサリー食を作る。	
授業の到達目標	犬が食べられるものでレシピを考案できる。 飼い主さんが喜ぶような見た目に仕上げることができる。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（レシピ）、出席率、提出物ならびに日常の授 業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・ D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	一般社団法人日本動物看護職協会認定臨床栄養指導 認定動物看護師 試験教本 動物栄養学（インターズー）	
授業上の注意点	愛犬にあげる際はアレルギーと体調に注意してください。	
	授業計画（内容）	コマ数
学園祭企画		
ワンちゃんのおやつ（3種）レシピを考案し製作		5
クリスマス企画		
ワンちゃんのクリスマスケーキ（1種）レシピを考案し製作		5
お正月企画		
ワンちゃんのおせち料理 製作、飾りつけ		5
レシピ、完成写真、愛犬の反応をレポートにまとめる		3
	合計	18
	授業単位数	1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	動物看護学Ⅱ（繁殖学・疾病学）	
担当教員の実務経験	① ペットショップ 代表 ブリーダー ② ペットショップ 店長 ③ トリミングサロン 代表 ④ 動物病院にて看護業務の経験がある。	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 2年生	
授業時間数・単位数	45コマ	3単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	動物看護学Ⅰの生理解剖学を元に、疾病の種類と予防について理解する。	
授業の到達目標	1級愛玩動物飼養管理士の取得を目指す	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習	覚えることが多いので、自宅学習にて復習するようにしてください。	
使用教科書・教材・参考書	1級愛玩動物飼養管理士教本、スクーリング教本、プリント配付	
授業上の注意点	各時間毎に理解度のチェックテストを実施します。	
授業計画（内容）		コマ数
動物の遺伝と繁殖生理…犬、猫、その他哺乳類、鳥類		1
繁殖の基本（繁殖生理、生殖器、性周期、性分化の過程、性行動）		1
分娩・新生児（受精、着床、人工授精、妊娠診断、妊娠動物の看護、正常・異常分娩、帝王切開、母体、新生児の管理）		1
避妊と去勢		1
遺伝（遺伝子、染色体、メンデルの法則、優性・劣勢遺伝、交配、遺伝性疾患、血液型）		1
感染症の病原体と予防の基礎知識		1
犬と猫のライフサイクルからみる健康管理と疾病予防（新生子期、幼年期、少年期、青年期、高齢期）		1
犬の疾病とその予防①心臓の疾病…先天性・後天性心疾患		1
犬の疾病とその予防②呼吸器の疾病		1
犬の疾病とその予防③消化器の疾病…口腔内、食道、胃、腸		1
犬の疾病とその予防④肝臓の疾病		1
犬の疾病とその予防⑤泌尿器の疾病		1
犬の疾病とその予防⑥生殖器の疾病		1
犬の疾病とその予防⑦骨・関節の疾病		1
犬の疾病とその予防⑧内分泌・代謝性の疾病		1
犬の疾病とその予防⑨皮膚の疾病		1
犬の疾病とその予防⑩血液の疾病		1
犬の疾病とその予防⑪感覚器の疾病…目、耳		1

犬の疾病とその予防⑫脳・神経の疾病	1	
犬の疾病とその予防⑬感染性の疾病	1	
犬の疾病とその予防⑭寄生虫症	1	
猫の疾病とその予防①心臓の疾病	1	
猫の疾病とその予防②呼吸器の疾病	1	
猫の疾病とその予防③消化器系の疾病	1	
猫の疾病とその予防④肝臓の疾病	1	
猫の疾病とその予防⑤泌尿器の疾病	1	
猫の疾病とその予防⑥生殖器の疾病	1	
猫の疾病とその予防⑦骨・関節の疾病	1	
猫の疾病とその予防⑧内分泌・代謝性の疾病	1	
猫の疾病とその予防⑨皮膚の疾病	1	
猫の疾病とその予防⑩血液の疾病	1	
猫の疾病とその予防⑪感覚器の疾病	1	
猫の疾病とその予防⑫脳神経系の疾病	1	
猫の疾病とその予防⑬感染症	1	
猫の疾病とその予防⑭寄生虫症	1	
ウサギ（健康管理のポイント、消化器・歯科・皮膚・尿石症・子宮疾患、骨折・脱臼）	3	
ゴールデンハムスターとジャンガリアンハムスター（健康管理、消化器・口腔・皮膚・泌尿生殖器）		
モルモット（健康管理、消化器・口腔・皮膚・泌尿生殖器）		
フェレット（感染症、循環器・消化器・泌尿器・皮膚疾患、腫瘍）		
チンチラ（健康管理、消化器・歯科・皮膚・眼科疾患、外傷）		
鳥類（健康管理、呼吸器、消化器、皮膚・体表、生殖器、骨・関節、寄生虫、ウイルス、中毒）	3	
爬虫類の健康管理（温度、湿度、紫外線）		
爬虫類…カメ（骨、皮膚、呼吸器、消化器、泌尿生殖器の疾患、外傷、熱中症、火傷）		
爬虫類…トカゲ（骨・関節、皮膚、呼吸器、消化器、泌尿生殖器の疾患）		
爬虫類…ヘビ（消化器、皮膚、眼科の疾患）	2	
確認テスト		
	合計	45
	授業単位数	3

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	動物看護実践Ⅱ	
担当教員の実務経験	動物病院にて看護業務の経験がある。 トリミングサロン 代表	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 2年生	
授業時間数・単位数	17コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	動物内科看護学の知識と実践力を習得する。	
授業の到達目標	トリマーとしてもペットショップスタッフとしても役立つ基礎的な知識を身につける。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	コンパニオン・アニマルの新健康管理学 プリント配付	
授業上の注意点		
	授業計画（内容）	コマ数
	薬用シャンプーについて理解する	2
	口腔内衛生管理	4
	救命救急について考える	3
	災害救助について考える	3
	ペット防災・災害対策について考える	5
	臨床栄養学	1
	合計	17
	授業単位数	1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	動物関係法令Ⅱ	
担当教員の実務経験	秋田県動物愛護推進協議会委員を務める	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 2年生	
授業時間数・単位数	15コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	飼養動物、野生動物、公衆衛生、自然環境にかかわる法令を理解する。	
授業の到達目標	1級愛玩動物飼養管理士の取得を目指す。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習	前日に教科書に目を通すこと。	
使用教科書・教材・参考書	1級愛玩動物飼養管理士教本、スクーリング教本、課題報告問題、プリント	
授業上の注意点	オンライン（eラーニング）方式によるスクーリングを受講します。	
授業計画（内容）		コマ数
動物と法律		
家畜伝染病予防法・検疫に関する法令・と畜場法		4
医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律・獣医師法・獣医療法		
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律、化製場等に関する法律		
動物飼育場のトラブルにかかわる法令		
動物の法的地位、飼い主の法的責任		3
刑法、軽犯罪法、遺失物法、民法、商法		
野生動物の保護にかかわる法律		
制度の体系		4
鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（鳥獣保護管理法）		
絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）		
特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）		
ワシントン条約、ラサール条約、生物多様性条約、渡り鳥などの保護条約および協定		
自然環境の保全に関わる法令		
自然環境保護法、自然公園法、文化財保護法		1
確認テスト		3
合計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	動物美容学Ⅱ	
実務経験	ペットショップでトリマーの経験がある。	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 2年生	
授業時間数・単位数	15 コマ	・ 1 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	専門的な犬種別トリミング方法、ライセンス取得に向けてクリップスタイルを覚える。	
授業の到達目標	ライセンス取得レベルの知識を身に付ける。 シザーリング、スイニング、ブラッキング犬種のトリミングの知識を身に付ける。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	ドッグ・グルーミング・ブック プリント配付	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
プードル ラム・クリップのトリミング方法		4
ミニチュアシュナウザー ペット・トリミング方法		3
ビションフリーゼ ペット・トリミング方法		1
Aコッカー ペット・トリミング方法		1
プードルのペットクリップ名称を覚える		2
アタッチメントコームを使ったトリミング方法		1
卒業制作のデザインを考える		3
合計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	特別講習（災害、コミュニケーション）	
担当教員の実務経験	<p>（特別講師 サニー カミヤ） 防災・救急救命経歴 ・レスキュー隊歴12年 福岡市消防局 ・国際救助隊歴6年@福岡市消防局 ・救急隊歴4年@福岡市消防局 ・EMT-D（救急隊員）2年@ニューヨーク州ウェスチェスター郡 ・内閣総理大臣表彰：韓国貨物船沈没事故乗組員4名救出 ・福岡市長表彰、福岡市消防局長表彰：人命救助表彰多数 ・ライフセーバー：オーストラリアライフセイビング協会 ・福岡ライフセイビング協会設立 ・国際消防&防災ジャーナリスト ・海外消防研修コーディネーター&通訳&翻訳 ・海外消防&防災用品仕入れコンサルタント ・防災コンサルタント&アドバイザー ・減災教育訓練指導員 ・災害危機管理アドバイザー ・危険予知トレーニングインストラクター ・各種防災ワークショップ、セミナー講師 詳しいプロフィールはホームページに掲載 (https://petsaver.jp/rep/)</p> <p>（特別講師 山口 巖） 有限会社ワンクスクリエイション 勤務 ・ペット業界を理解してもらう為の『ワンポイントセミナー』 ・スタッフ同士のチーム力を上げる『スタッフ育成セミナー』 ・『仕事のやりがいアップ』『スキンケアセミナー』 などを、全国のペットショップ、動物病院や専門学校で開講。</p>	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 2年生	
授業時間数・単位数	15コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	<p>（ペット防災・災害対策） ペット同行・同伴避難についての理解を深め、実際に避難所開設・支援について実習形式で学ぶ。 （コミュニケーション講座） コミュニケーション技法を学ぶ。</p>	
授業の到達目標	<p>（ペット防災・災害対策） 避難所等災害時の飼い主への支援を説明できるようになる。 （コミュニケーション講座） ペット業界で求められる人物になるためのコミュニケーション能力を身につける。</p>	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験・レポート）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	資料配付	
授業上の注意点	感染症拡大防止の観点より、授業内容に変更が生じる場合があります。	
授業計画（内容）		
		コマ数
ペット防災・災害対策（避難所開設・支援訓練、ペット防災基礎講習）		5
復習課題（レポート、展示物の作成）		3
コミュニケーション力講習		5
復習課題（レポート）		2
	合計	15
	授業単位数	1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	ドッググッズ製作	
対象学生	ペットビジネス科 2年	
授業時間数・単位数	15コマ	1 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	愛犬と飼い主さんが喜んでくれるよう、心を込めて身の回りで使用するグッズを制作する。	
授業の到達目標	安全安心なグッズにオリジナリティを加えて制作できる。	
成績評価方法と基準	各課題評価80%、授業態度出欠席20%	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書		
授業上の注意点		
授業計画（内容）	コマ数	
	フェルトボール作り方説明と師範	1
実習	リボンA制作	2
	革コードとビーズを使用したネックレスの作り方説明と師範	1
実習	革コードとビーズを使用したネックレス	2
	革コードとビーズを使用した飼い主用ブレスレットの作り方説明と師範	1
実習	革コードとビーズを使用した飼い主用ブレスレット	2
	アウトドアコードを使用したリードの作り方説明と師範	1
実習	アウトドアコードを使用したリード	2
	アウトドアコードを使用した首輪の作り方説明と師範	1
実習	アウトドアコードを使用した首輪	1
実習	アウトドアコードを使用したキーホルダー作り	1
合計		15
	授業単位数	1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	校外研修Ⅱ	
対象学生	ペットビジネス科 2年	
授業時間数・単位数	30 コマ	・ 2 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	動物関連施設およびイベントの見学を行う。	
授業の到達目標	業界への理解を深め、視野を拡げる。 就職活動のチャンスとする。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（レポート）、出席率、提出物ならびに研修態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書		
授業上の注意点	研修内容については、今年度のあらゆる状況や業界動向等を考慮し決定します。	
授業計画（内容）		コマ数
国内研修①全校研修		5
研修オリエンテーション、グループ分け、訪問企業の決定、しおり作成		3
国内研修②ペット分野に対する理解を深める研修		20
レポート提出		2
合計		30
授業単位数		2

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	就職実務Ⅱ	
対象学生	ペットビジネス科 2年生	
授業時間数・単位数	15コマ	・ 1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	就職活動に必要な書類の準備、書き方の指導を行う。 インターンシップのアポイント、面接の指導を行う。	
授業の到達目標	希望就職先の内定	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習	志望動機等の添削指導は一度では終わらない場合があります。各自授業時間外にも考えて修正する努力をしてください。	
使用教科書・教材・参考書	動物系専門学校生・トリミングスクール生のための コミュニケーション・マナー&キャリア・ガイダンス（インターズー）	
授業上の注意点	提出書類の期日に注意を払うこと。	
授業計画（内容）		コマ数
就職活動の進め方		1
志望動機		3
履歴書の書き方		3
企業研究		2
インターンシップについて		1
インターンシップノートの準備		2
アポイントの取り方		1
面接指導		2
	合計	15
	授業単位数	1